

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲注意** …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

- 錠セットを取り付ける前に枠へつり込むと、ドアが勝手に開き危険です。必ず錠セットを取り付けてからつり込んでください。
- 丁番の取付けねじは奥まで締め付けてください。ねじがゆるいとドア本体脱落の原因となります。

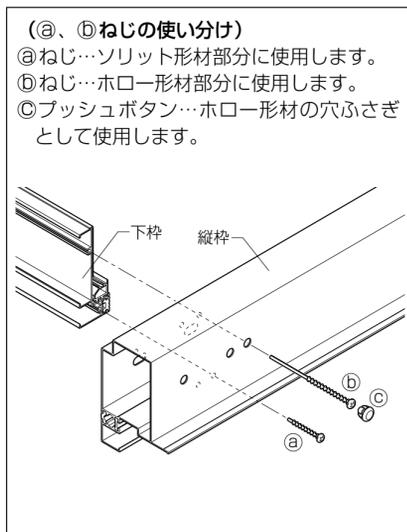
## ■使用ねじ・部品一覧表

●図中の記号は、使用ねじ及び部品の種類を示します。

<p>φ4×25 ナベタッピンねじ</p>	<p>φ4×75 ナベタッピンねじ</p>	<p>プッシュボタン</p>	<p>下枠アンカー</p>
<p>※枠に取付け</p>	<p>※子扉に取付け</p>	<p>※本体に取付け</p>	
<p>ドアガード受け(枠用) (M4×16/バインド小ねじ)</p>	<p>ドアガード受け(子扉用) (M4×16/バインド小ねじ)</p>	<p>ドアガードアーム (M4×12皿小ねじ) 注1(φ4×25タッピンねじ1種)</p>	<p>ガラスライナー</p>
			<p>M4×10 トラス小ねじ</p>

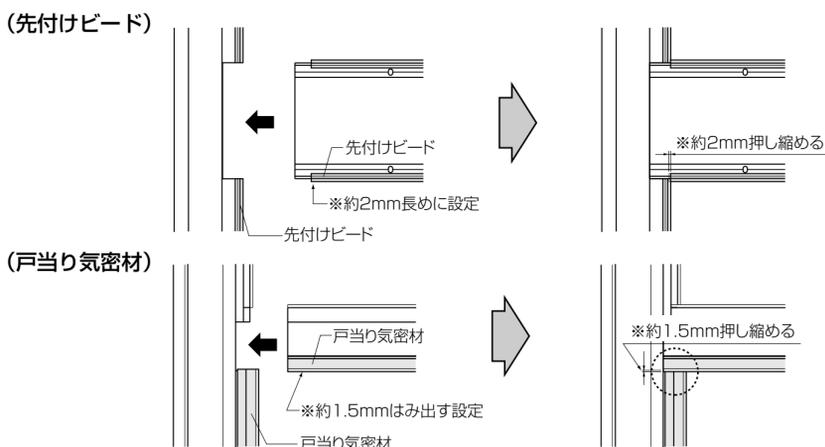
注1.フラッシュドアへの取付け用

## ■組立て詳細図



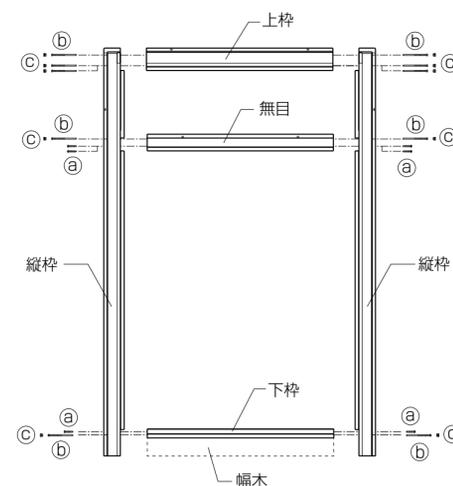
(先付けビード・戸当り気密材のコーナー部納まりについて)

●組立ての際、コーナー部の先付けビード・戸当り気密材が正しく納まっているか確認してください。先付けビード・戸当り気密材は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。



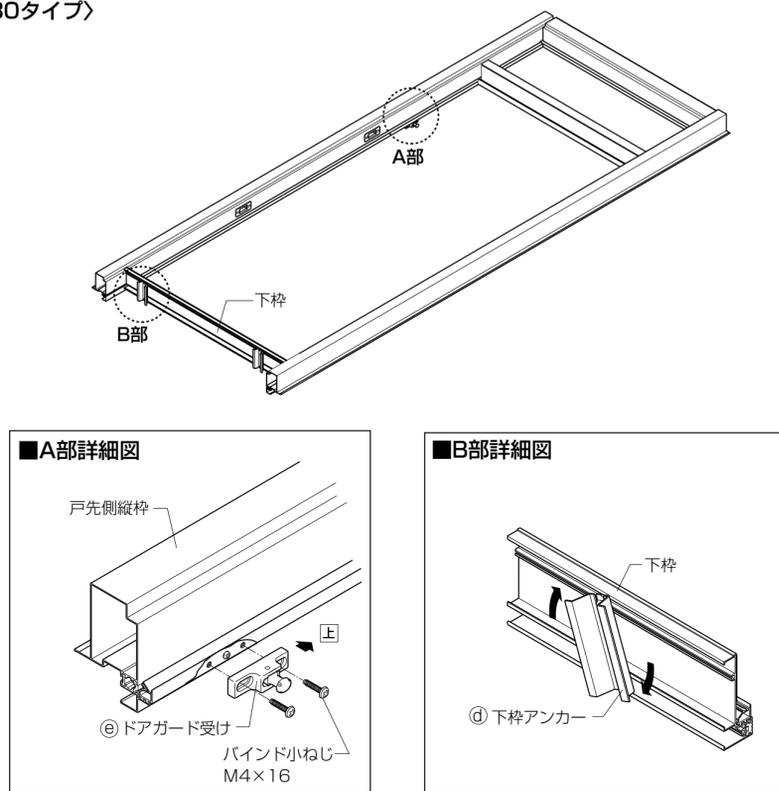
## ■組立て順序

●30・45親子  
※ランマ無しの場合、無目はありません。



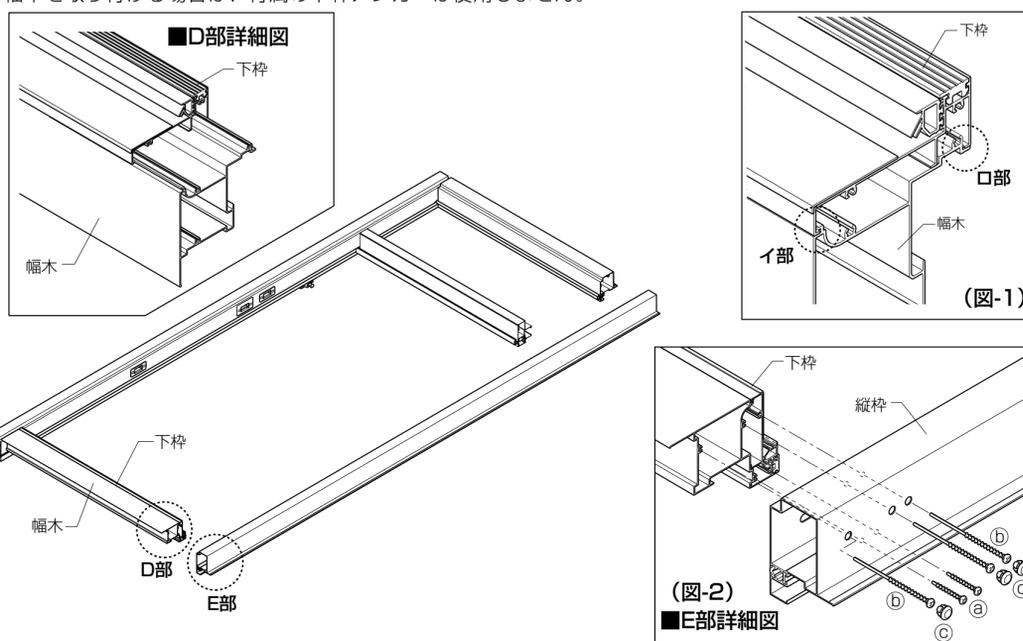
## ■組立て詳細図 (部品の取付け)

<30タイプ>



## <幅木 (別売り品) を取り付ける場合>

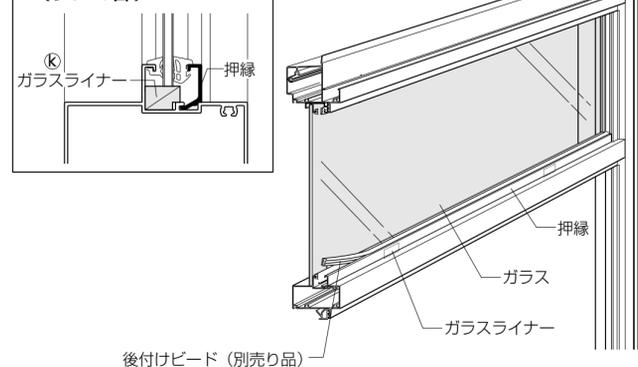
- ①下枠に幅木をスライドして差し込みます。その際、図-1のイ、口の2箇所を合わせてください。
- ②縦枠に付けてあるプッシュボタンを外します。(組立て後、また取り付けてください。)
- ③下枠の固定と一緒に幅木を固定します。(図-2) 使用ねじは、幅木に同梱してあります。 ※幅木を取り付ける場合は、付属の下枠アンカーは使用しません。



## ■ガラスの入れ方

●ガラスをケンドンで入れ、ガラスライナーをガラスの下に置きます。押縁を取り付け、後付ビード (別売り品) で固定してください。 ※ガラスライナーの向きを確認してください。

## ■ガラスライナーの納まり <ランマ部>



## ■丁番の取付けと本体のつり込み

①丁番は上・中・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は中・下になるように取り付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。) 本体側は、M4×18皿小ねじ (長い方のねじ) で取り付けてください。

②ドア本体を①・②・③の順でつり込みます。

